

1日目 10月28日

会 場: しまなみ球場(広島)

第2試合		～1回戦～																	
T E A M		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
宇部鴻城		1	1	1	0	1	2	1	0	2							9	11	2
三刀屋		2	0	1	0	0	0	0	0	0							3	7	4
(投手―捕手)																			
・ (宇)		浅田→山口 ― 岡本壮																	
・ (三)		三原→槇野 ― 國分																	
(長 打)		(二塁打)							(三塁打)							(本塁打)			
・ (宇)		谷口、岡本壮							大川										
・ (三)		高野														高野、槇野			
(審判)〔球審〕		円山			〔一塁〕西村				〔二塁〕内木				〔三塁〕岡本						
(チーム成績)																			
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨	
(宇)	44	11	7	2	1	0	3	7	4	1	8	1		2	1	0	0	0	
(三)	35	7	3	1	0	2	4	1	2	0	5	1		4	2	0	0	0	

「三刀屋、本塁打で逆転も守りのミスから力尽きる！」

序盤から予想外の点の取り合いになった。1回表に宇部鴻城がセンター前への適時打で1点を先制するが、直後の裏に三刀屋の1番高野が内寄りの直球、3番槇野が外寄りの直球を捉え2本の本塁打を放ち、2人の主砲の活躍で逆転に成功した。

しかし、三刀屋は失策から崩れる。2回表に2塁走者がフライングで飛び出したが、投手の3塁転送が暴投となり同点を許す。3回に両者1点ずつ取り合い、迎えた5回表四球と安打で1死1・3塁から狙いどおり内野ゴロを打たせたものの二塁手が弾き、宇部鴻城が逆転に成功する。

6回以降は宇部鴻城の一方的な展開となった。2度のスクイズや相手中堅手の落下地点の見誤りなど守備のミスも重なり着実に得点を重ね、注目の好投手三原を打ち崩した。三刀屋は7回裏の1番高野が打ち取られると声が途切れていた。やはりチームの精神的な支えとなっている高野を投手が抑える実力があるチームは、仮に夏三刀屋と戦うなら大きなアドバンテージがあると言えるだろう。だが、槇野や吉田にも一撃があることは忘れてはいけない。

〔野手成績〕

[illegible][illegible][illegible][illegible]